

案件化調査

インド国 小規模浄水装置による公共水道の拡張支援案件化調査

企業・サイト概要

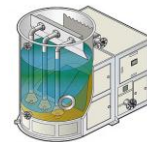
- 提案企業：株式会社広洋技研
- 提案企業所在地：東京都品川区
- サイト・C/P機関：マハラシュトラ州バドラプール市・マハラシュトラ州上下水道局アンバルナス事務所

インドの開発課題

- 都市人口の急増に伴う水需要増加に対する、上水道インフラ整備の遅れ
- 水道未整備エリアに建設される大規模マンションも多く、これらは未処理の井戸水を利用
- 浄水場整備は計画から建設完了まで数年を要するため、その間にも増加する需要量に対して供給量が不足し、中央政府・州政府が掲げる24時間連続給水の達成が見込めない

中小企業の技術・製品

- 砂ろ過技術の長年の課題であった、砂の完全洗浄を可能にした砂ろ過装置「リーチフィルター」
- 他の浄水装置と比べても維持管理コストが低い
- 砂ろ過のため、運転や維持管理が容易
- コンパクトな装置で、設置が簡易



調査を通じて提案されているODA事業及び期待される効果

- C/P機関の要望に基づき、マンション開発が進むエリア近傍にリーチフィルターを2台設置し、一時的ながらも迅速に不足浄水量を補う(安全かつ24時間連続給水という安定的な飲料水へのアクセス人口は25,947人)
- 将来現地に新たな都市型浄水場が整備された場合でも、都市開発の状況に合わせて他の浄水量不足エリアに移設することで、都市周辺部等の安全な水へのアクセス率の向上に継続的に貢献する

日本の中小企業のビジネス展開

- ODA事業を通じた実績獲得と認知向上を足がかりとして、公共水道事業体及び民間住宅デベロッパー等の民間事業者を営業市場として展開
- 市場へのアクセスを持つ現地企業と連携し、現地生産と販売促進とを担う現地法人を設立

